あの街この町

国分・中国分

◎国分

国分の地名は国分寺が建立されたところから起きたものです。

一丁目＝台地の下、東南に広がる低地で1～7番までが沖原、ほかが塚田です。

2丁目＝1～14番までが石橋下、21・22番が5丁目から続く北根で、ほかは3丁目にまたがる平川です。

3丁目＝台地下の低地を石橋上、19～22番が2丁目から続く平川で、国分寺はここに含まれます。そのほかは根古屋といいました。

4丁目＝1～4番が不入斗で、これは六所神社の神田として貢税を取られなかった所という意味です。5～15番は寺堀込、ほかが庚申前で、ここには尼寺がありました。

5丁目＝1～7番、12～14番が北根、8・9・20・21・22・24番が三枚畑、ほかは北中台です。

6丁目＝4・8・9番は5丁目から続く北中台、1～3・5～7番が北下ノ一、10・11・15～17・23～25番が北下ノ二、12・14・18～20番の東半分が北ノ下、13、20の西半分と21番が北ノ台22番が7丁目に続く雷下です。

7丁目＝2～4・7番が6丁目から続く雷下、8・9・12・13番が弁天下、ほかは関下です。

◎中国分

戦時中まで陸軍東練兵場があり、戦後区画されました。

一丁目＝北が平台の一部、南が南台です。

2丁目＝全域が東台です。

3丁目＝住友金属の研究所付近が1丁目から続く平台で、ほかは全域中台です。

4丁目＝台地上が西台で20～26番が新山、じゅん菜池のあたりが不入斗です。

5丁目＝8・9・10番が真木ノ内、34～39番が下台、ほかは上台です。

陸軍用地になる前は1丁目の北部が平ノ台、東部が北台、西部が三枚畑です。

2丁目は国分4丁目から続いて東部が庚申前、西部が寺堀込です。3丁目は北部の一角、日本エンゲルハルド研究所のあたりが道メキ、ほかは真木ノ下内です。4丁目は台地のところが新山、じゅん菜池が不入斗です。

5丁目は全域が真木ノ内でここは近世牧場でした。